

## 医療福祉建築賞 2018 募集要項

主催 一般社団法人日本医療福祉建築協会  
後援 厚生労働省(予定)

一般社団法人日本医療福祉建築協会では、1991年に厚生省(当時)の後援を得て「病院建築賞」を創設し、1995年より名称を「医療福祉建築賞」と改めて、医療福祉建築の顕彰事業を実施しております。

賞は、近年竣工した医療・福祉施設及び保健施設のうち、応募のあったものの中から選ぶこととなります。下記の要項に沿って、ふるってご応募くださるようご案内致します。

### 1. 趣旨

医療福祉建築賞は優れた医療福祉建築を顕彰し、それを広く世に知らせることによって、これら施設の質の向上をはかることを目的として定めるものである。

優れた医療福祉建築とは、建築として質が高いことに加えて、利用者ならびに職員にとって快適で使い勝手がよいことを条件とする。すなわち中身と器が調和し、いずれにおいても優れていることを意味するものとする。

### 2. 顕彰

「医療福祉建築賞」若干点に対して、賞状・賞牌・銘板が贈られる。また、企画、特定の部門計画、工事技術などが特に優れている応募案があった際には、選考委員会でその内容を検討し若干点に対して「医療福祉建築賞 準賞」として、賞状・賞牌が贈られる。

### 3. 対象

顕彰の対象となる施設は、2014年(平成26年)4月1日から2017年(平成29年)3月31日までの3年間に日本国内において新築、増改築または改修を行なった医療・福祉・保健施設ならびにその関連施設とする。

なお、上記条件に合致する限りにおいて、前回に応募し選外となった作品の応募もさしつかえない。

### 4. 応募資格

応募者は、当該施設の開設者または管理者、設計者のどちらでもよい。ただし、選考委員または委員の所属する組織が計画・設計・運営に関与している施設は応募できない(当該施設は委員の任期終了後に応募することができる)。

### 5. 選考のための提出資料

- (1) 所定の応募申込書ならびに建築概要書
  - (2) 設計主旨
  - (3) 図面 配置図・平面図・断面図など、大きさはA3判。
  - (4) 写真 15葉程度とし、周辺環境がわかるものを含むこと。また、室内については家具・機器等が設置されていること。大きさは任意。
- 上記(1)～(4)をA3判クリアファイル1冊におさめ

て提出のこと。なお、それらをPDF化しCD等に収めたデータを同時に提出のこと。ただし、本会誌『医療福祉建築』に作品全体が紹介されたものについては、(2)～(4)の一部について当該誌の提出をもってこれに替えることができる。この場合でも『医療福祉建築』に掲載分も含めてデータを提出のこと。

### 6. 応募期日

2018年8月20日から同年8月31日まで。当日消印有効。

### 7. 提出先

一般社団法人 日本医療福祉建築協会  
住所 〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館  
電話 03-3453-9904 FAX 03-3453-7573

### 8. 応募料

応募者は1作品につき64,800円(税込)を応募料として応募時に納入する。

### 9. 選考

選考は、以下の委員で構成される選考委員会によって「趣旨」に沿った判断にもとづいて行なう。なお、選考過程で必要に応じて現地調査を行なう。また、必要に応じて特別委員をおくことができる。

委員長 笥 淳夫(工学院大学 建築学部 教授)  
委員 伊藤 正(鹿島建設(株) 医療福祉推進部 部長)  
委員 伊藤 恭行(名古屋市立大学芸術工学研究科 教授)  
委員 岡本 和彦(東洋大学 理工学部 准教授)  
委員 武村 雪絵(東京大学大学院医学系研究科 准教授)  
委員 正木 義博(社会福祉法人恩賜財団済生会支部  
神奈川県済生会支部長)  
委員 三浦 研(京都大学大学院 工学研究科 教授)

### 10. 公表

選考の結果は2019年3月末日までに応募者に通知するとともに、別途本会誌に公表する。

### 11. 提出資料の取扱い

応募のために提出した資料は返却する。また、本協会がこの事業の趣旨に則して提出資料を会誌に掲載、さらに図書の出版、または展示などのために用いる場合、受賞者は無償でその使用を認めることとする。なお、その際写真撮影者の記載を必要とする場合は、あらかじめ応募の際に明記する。

応募書類はwebでダウンロードできます。 <https://www.jiha.jp>

※本賞に関するお問合せはメールにてお受けします。 E-mail:office@jiha.jp

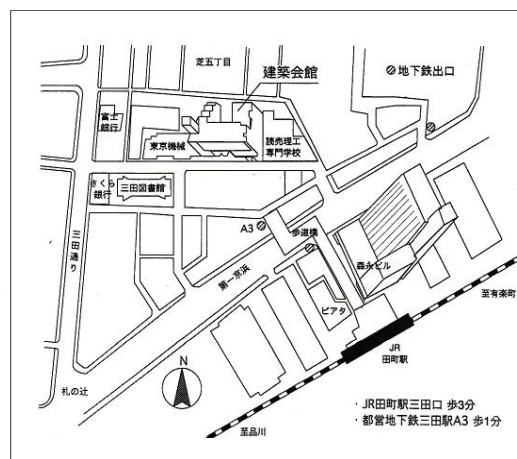
## 医療福祉建築フォーラム 2018 開催案内

本協会では毎年、医療福祉建築に関する研究・計画・設計者と他分野の方々が、ともに学び、考える場として、医療福祉建築フォーラムを2日にわたり開催しています。

本年度は、人口減少時代の病院づくり、障がい児者施設をテーマにしたシンポジウムをはじめ、病院運営と医療の国際化、ロボット手術「ダヴィンチ」、病院のICT化、BIMの進化と活用、世界のマギーズセンター、住宅セーフティネット法、などの最新の話題に関する講演を企画しております。皆様お誘い合わせの上、ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

### 記

- 会 期 2018年9月20日(木)・21日(金)  
 会 場 建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)  
 主 催 一般社団法人 日本医療福祉建築協会  
 定 員 140名 (定員になり次第しめきります)  
 参加費 一般: 37,800円 JIHA 会員: 21,600円(税込)  
 申し込み 1) 参加申込書にご記入の上、FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込みください。(webでもお申し込みできます)  
 2) 申込み順に、参加費を記載した受付票を返信致します。  
 3) 受付票が届き次第、参加費をご確認の上、指定口座にお振り込み下さい。  
 4) 入金を確認され次第、領収書と参加証をお送りします。



※申込み後、3営業日を過ぎても受付票が届かない場合は、事務局までお問合せください。

日本医療福祉建築協会事務局 〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館  
 TEL: (03) 3453-9904 FAX: (03) 3453-7573 E-MAIL: office@jiha.jp

## 医療福祉建築フォーラム参加申込書

日付: 2018年 月 日

一般・JIHa 会員 (○を付して下さい)

法人名			
所在地	〒		
担当者		部 署	
T E L		F A X	

参加者名	参加者名

日本医療福祉建築協会 行 FAX (03) 3453-7573

## 医療福祉建築フォーラム 2018 プログラム

## 第1日 9月20日(木) 9:00 開場

9:30-9:35	<b>会長あいさつ</b> 中山 茂樹 (一般社団法人 日本医療福祉建築協会 会長)
9:35-10:35	<b>講演: BIMの進化と活用: 病院設計の活用事例と施設管理における課題</b> 安井謙介 (一般社団法人 building SMART Japan)
10:45-11:45	<b>講演: これからの病院の ICT 化</b> 高尾洋之 (東京慈恵会医科大学 先端情報技術研究講座 准教授/脳神経外科)
11:45-12:45	昼食休憩
12:45-13:45	<b>講演: 最新の治療技術・手術支援ロボット「ダヴィンチ」</b> 中村廣繁 (鳥取大学 胸部外科 教授)
14:00-16:30	<b>シンポジウム: 障がい児者施設の現在</b> コーディネーター: 山脇博紀 (筑波技術大学 産業技術学部 教授) 坂本公宣 (熊本県こども総合療育センター 整形外科 嘱託) 水流純大 (社会福祉法人落穂会 あさひが丘学園 施設長) 米山 明 (心身障害児総合医療療育センター 小児科 外来療育部長)

## 第2日 9月21日(金) 9:00 開場

9:30-10:30	<b>講演: 住宅セーフティネット法について</b> 石坂 聡 (国土交通省住宅局 安心居住推進課長)
10:40-11:40	<b>講演: 病院運営と医療の国際化</b> 福井次矢 (聖路加国際病院 院長)
11:40-12:40	昼食休憩
12:40-14:10	<b>講演・対談: 世界のマギーズセンター</b> 司会: 竹宮健司 (首都大学東京都市環境学部 教授) 三浦 研 (京都大学大学院 工学研究科 教授) 秋山正子 (マギーズ東京 センター長)
14:20-16:30 (途中 10分休憩)	<b>シンポジウム: 人口減少時代の病院づくり</b> コーディネーター: 中山茂樹 (千葉大学大学院 工学研究科 教授) 栗谷義樹 (独立行政法人 山形県酒田市病院機構 理事長) 黒澤一也 (社会医療法人恵仁会 理事長/くろさわ病院 病院長) 他、設計事務所より事例報告

(公社) 日本医業経営コンサルタント協会「医業経営コンサルタント」継続研修: 11.0時間 (予定)  
建築CPD (継続能力/職能開発) 情報提供制度認定プログラム (予定)

\* 講師敬称略、テーマ・講師は変更されることがあります。

